

第 41 回神奈川県ゆうあいピック大会バレーボール競技
実施要領

- 1 主 催 一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会
- 2 期日と会場 令和6年9月8日(日) 横浜市港南スポーツセンター
- 3 申込・振込期限 令和6年8月8日(木) 【期限厳守】
- 4 参加費 1チーム 5,000円(専用口座に振り込み)
- 5 競技規則 競技は、日本バレーボール協会6人制競技規則及び、当該年度の全国障害者スポーツ大会競技規則によるものとする。
- 6 選手数等 チームの登録選手数は無制限とするが、登録選手以外の出場は認めない。リベロプレイヤーの登録は2名以内とする。
- 7 競技方法
 - ① 試合ごとにラインアップシートをオフィシャルに渡す。
 - ② 試合はラリーポイント制25点(第3セットは15点)3セットマッチとする。
 - ③ 試合開始時、終了時、キャプテンが先頭で補欠を含む全員がエンドラインに整列し、主審の合図で挨拶する。
 - ④ デュースの場合は、2点先取したチームの勝ちとする。
 - ⑤ 第3セットは、いずれかのチームが8点を取った時点でコートチェンジを行う。
 - ⑥ ローテーションは行わなくてもよい。
 - ⑦ コートの大きさは9m×18mとする。
 - ⑧ ネットの高さは男子2m30cm、女子2m15cmとするが、敗者交流戦は例外とする。
 - ⑨ 選手の交替は競技の停止中に次の要領で行う。
 - ・メンバー表にある交替要員の中から、選手交替ができる。
 - ・選手交替するときは、副審の承認を受ける。
 - ・交替のため退場する選手が完全にコートの外に出てから、交替者が入る。
 - ⑩ 第3セットは、両チームのキャプテンのトスでサーブ権及び、コートを決めてから、ゲームを開始し、いずれかのチームが8点を取った時点でコートチェンジをする。
 - ⑪ その他
 - ・試合球は本部の用意した5号球を使用する。
 - ・連続する試合と試合の間は、原則10分間を確保する。
 - ・プロトコルは、試合開始前のコートで合同で3分間とする。
- 8 対戦組み合わせ 申込締切り後、1週間以内に主催者において抽選を行い決定する。
- 9 その他 荒天等の不測の事態が生じた場合の取り扱いは、主催者において別途定める。

第 41 回神奈川県ゆうあいピック大会ソフトバレーボール競技
実施要領

- 1 主 催 一般社団法人神奈川県障がい者スポーツ協会
- 2 期日と会場 令和6年9月8日(日) 横浜市港南スポーツセンター
- 3 申込・振込期限 令和6年8月8日(木) 【期限厳守】
- 4 参加費 1チーム 1,000円(専用口座に振り込み)
- 5 競技規則 原則、同年度の(公財)日本バレーボール協会競技規則(ソフトバレーボール規則)によるものとする。また、障害の特性により別途定める。
- 6 選手数等 チームの登録選手数は無制限とするが、登録選手以外の出場は認めない。
- 7 競技方法
 - ① 試合ごとにラインアップシートをオフィシャルに渡す。
 - ② 試合はラリーポイント制21点1セットマッチとする。コートチェンジは行わない。
 - ③ デュースの場合は、23点を先取したチームを勝者とする。
 - ④ 試合開始時、終了時、キャプテンが先頭で補欠を含む全員がエンドラインに整列し、主審の合図で挨拶する。
 - ⑤ ローテーションは行わなくても良い。
 - ⑥ コートの大きさは6.1m×13.4m(バドミントンコート)とする。
 - ⑦ ネットの高さは2m00cmとし、敗者戦・交流戦は例外とする。
 - ⑧ 1チームの人数は8人までとし、コート内のプレーヤーは4名で男女の数は問わない。
 - ⑨ 選手の交代は競技の停止中に次の要領で行う。
 - ・メンバー表にある交替要員の中から、選手交替ができる。
 - ・選手交替するときは、主審の承認を受ける。選手交代は各セット2回以内とする。
 - ⑩ その他
 - ・試合球は本部の用意したソフトバレーボール公認球を使用する。
 - ・試合が連続する場合は試合が連続するチームの準備が整い次第次の試合に入る。
 - ・プロトコルは、試合開始前のコートで合同で3分間とする。

○ 個人技術競技・・・サーブゲームを行う

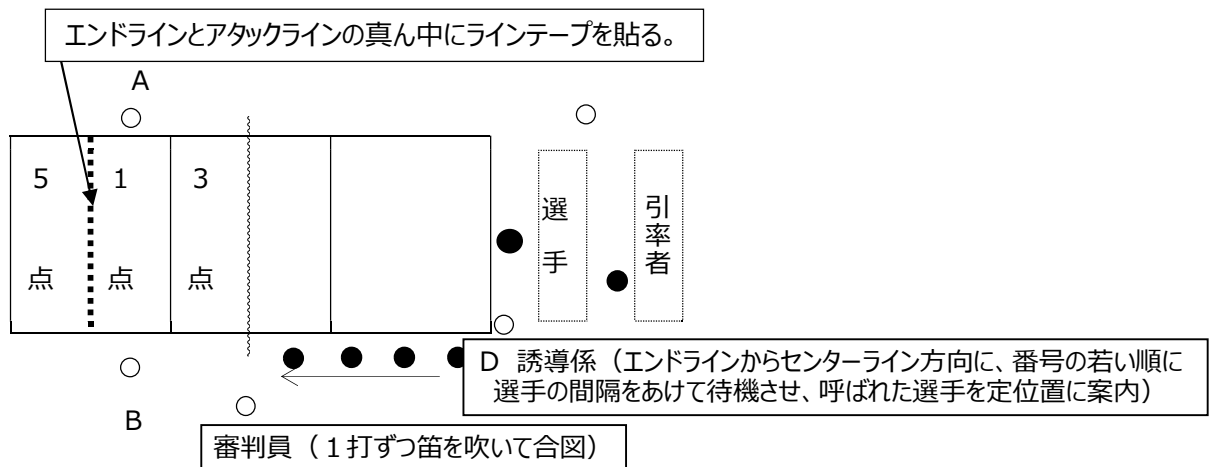
1 サーブゲームを実施する（Aコートで行う。）

- ① ビブスは、朝の受付時に各チームに配布する。出場する選手個々のエントリー用紙に配付されたビブスの色及び番号を記入し受付係に提出する。
- ② 競技の司会・誘導はスポーツ指導者・スポーツサポーターが担当し、進行はホイッスルの吹笛により審判が行う。
- ③ 競技者は、審判の合図で1名ずつ3回続けてサーブを打ち、その合計点数で順位を競う。
- ④ 得点と同じ場合は、各1回ずつ行い、得点差が出るまで行う。
- ⑤ 得点上位の3名にメダルが授与される。
- ⑥ 試合が終了した時点で、スポーツ指導者・スポーツサポーターは各コートにサーブゲーム用のラインをラインテープで貼る。
- ⑦ 表彰は、バレーボール競技の表彰と併せて、閉会式の時に行う。

【サーブゲーム役割分担】

- A 得点ボードを持ち、サーブが入った地点の係がボードを頭上に掲げる。（スポーツ指導者 各コート1名）
→線上にボールが落ちた場合は高いほうの得点を掲げる。
- B 集計用紙に得点の記入をする。（スポーツ指導者 各コート1名）
- C ボールを消毒して、サーブする選手に渡す。（スポーツ指導者1名）
- D 誘導係は、選手の間隔をあけて、所定の位置に誘導（整列）する。（スポーツ指導者1名）
- E 司会（スポーツ指導者・スポーツサポーター）

● = 選手 ○ = 役員



☆司会係 E

- ① 準備が整い次第スタートさせる
「○番（ビブスの番号）、◇◇（チーム名）の○○選手です。」（必ずマイクで選手名を呼んでください！）
- ② 選手を紹介し終わったら、エントリー表はすぐにCの係（記入係）に渡す。
- ③ 打つタイミングは審判員がタイミングをみて笛を吹いてくれる。
- ④ 一人の選手が3本打ち終わったら、次の選手を呼ぶ。→①から繰り返し

☆誘導係 D

- ① 選手を誘導する。
- ② ビブスの番号順に選手を待機させる。俊介
- ③ ボールが回ってきたら、選手に渡す。

④呼ばれた選手を誘導する。この時、選手によって立ち位置が違うので、エンドラインを踏ませないように注意してあげる。